

📖 今月のおすすめ本 📖

『はたらく物語 マンガ・アニメ・映画から「仕事」を考える8章』 【366.04/コ】

河野真太郎(2023)笠間書院

この本は 漫画やアニメ、映画の8作品を題材に、現在の「はたらくこと」をジェンダーの視点から分析した本です。漫画『3月のライオン』や映画『プラダを着た悪魔』、『マイ・インターン』、アニメ『機動戦士ガンダム 水星の魔女』など、これまで見たり読んだりした作品を「感情労働」「ケア労働」「不払い労働」などの切り口で示してくれ、この新しい切り口は、既知の作品を驚きをもって見直すことになり、さらに「はたらくこと」について考えさせられます。

ちょっと難しいと感じてしまう労働の理論が述べられていますが、本書を手に取り読んでみませんか。

📖 この本に出てくるDVD

『マイ・インターン』【DVD/366/マ】ナンシー マイヤーズ/監督・脚本・製作
(2016) ワーナー・ブラザーズ・ホームエンターテイメント

『アリスのいた映画史』 【778. 24/ヨ】吉田はるみ(2023)彩流社

世界初の映画というリュミエール兄弟というのは知っているも、映画創成期にいたアリス・ギイ(1873~1968)の名は知らないかもしれません。フランス人である彼女は映画の誕生を目撃し、世界初の女性フィクション映画監督であり、アメリカに渡り自身の会社やスタジオを持ち、作品数は700本を越えるといわれています。「映画・シネマ」という呼び名もなかったころから映画業界で活躍してきましたが、著作権も曖昧な時代、クレジットにその名が残ることもありませんでした。

また彼女は、男性社会にありながら「スタジオで男性を管理する立場にあったときは戦いの連続だった」と感じたためか、男女の役割が入れ換わり、ジェンダーを意識するような映画も撮っています。スタジオの火事・破産や離婚、第一次大戦など世界情勢の変化にも翻弄されたアリスの人生を読んでみませんか。

📖 アリス・ギイ について

『「映画」をつくった人 世界初の女性映画監督アリス・ギイ』【726. 6/チ】

マーラ・ロックリフ(2019) 汐文社

『私は銀幕のアリス 映画草創期の女性監督アリス・ギイの自伝』【777. 235/キ】

アリス・ギイ(2001) パンドラ